

第6章 推進体制

計画の周知
関係機関等との連携・協働
計画の進行管理
成果指標

1 計画の周知

計画の推進にあたり、子育て家庭、子育てに係る事業者・関係団体をはじめ、多くの市民と協力が重要であることから、策定した計画について、関係者や関係団体へ周知するとともに、ホームページなど様々な媒体を活用して、広く住民に周知します。

また、「子ども・子育て支援新制度」について分かりやすく知らせていくことが安心した妊娠・出産・子育てに結び付いていくと考えられるため、利用者の視点での情報提供に努めていきます。

2 関係機関等との連携・協働

子ども・子育てに関わる施策は、教育・福祉分野だけでなく、保健・医療・商工業など、多岐にわたります。

このため、施設関係者・民生委員・児童委員・関係機関などと連携を図りながら、協働による子育て支援に努めます。

また、国や県とも連携して、施策の推進にあたります。

3 計画の進行管理

この計画（Plan）の達成状況（利用定員数や施策取組）を得るためには、計画に基づく取り組み（Do）の達成状況を継続的に把握・評価（Check）し、その結果を踏まえた計画の改善（Act）を図るといった、PDCAサイクルによる適切な進行管理が重要となります。

このため、計画内容の審議にあたった「奄美市子ども・子育て会議」が、今後、毎年度の進捗状況の把握・点検を行うこととし、その結果を公表するとともに、それに対する意見を関係機関や団体などから得ながら、適時、取り組みの見直しを行っていきます。



4 成果指標

(1) 計画レベルの評価

指標	平成 24 年	目標 (平成 31 年度)
合計特殊出生率	1.89	2.08

(2) 施策レベルの評価指標

認定区分別確保方策

区分	確保方策(利用定員)	
	H27 年度	H31 年度
1号認定+2号認定(教育ニーズ)	545	545
2号認定(保育ニーズ)	594	654
3号認定(0歳児)	106	115
3号認定(1-2歳児)	384	535

仕事と家庭生活の両立

指標	就学前児童 (平成 25 年度)	目標 (平成 31 年度)
育児休業の取得状況(取得した方)	父親：2.1% 母親：27.9%	父親：13%以上 母親：50%以上
育児休業を取らなかった理由		
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	父親：17.4% 母親：12.9%	父親：10%以下 母親：10%以下
育児休業の制度がなかった	父親：14.8% 母親：32.6%	父親：10%以下 母親：10%以下